



7月・8月 予定表	1
6月例会出席者・5月山行実績	2
東葛山の会第49回定期総会 議事録	3～4
山行案内 (7月・8月・9月)	5～8
山行報告	
・日光フラワーウォッチング (伏見)	9～10
・戸隠西岳 (富永)	11
・石尊山 (江崎)	12
・古賀志山 (県連登山講習会) (富永)	13
・龍王峡自然研究路 (林)	14～15
・平標山 (五十嵐)	16～17
短歌 札幌の円山～藻岩山～三角山～大倉山を振り返って (羽鳥)	18～19
思い出の山 (山口)	20～21
ちよっと一言 (吉留と)	22

## 表紙写真紹介

今年の5月7日～8日個人山行で新潟の坂戸山と大力山に誘われました。  
写真は2日目の大力山からみた雪形の残る越後三山です。  
素晴らしい越後の春山を満喫できました。

**雪残る越後三山仰ぎ見て山友は「八中駒」と順に指さす**

向って右から八海山 (はっかいさん)、中の岳 (なかのだけ)、越後駒ヶ岳 (えちごこまがだけ)

～～羽鳥健一郎～～

会報部からのお願い <表紙写真>

8月号は井上勝代さん、9月号は山脇多美さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部 (清水、桐生) へ提出してくださるようお願いいたします。

## 7月・8月予定表

		7月				8月	
1	火			1	金		
2	水	山行部会 (18:00~20:00)		2	土		
3	木			3	日		
4	金			4	月		
5	土			5	火		
6	日			6	水	山行部会 (18:00~20:00)	
7	月			7	木		
8	火			8	金		
9	水			9	土		
10	木			10	日		
11	金			11	月	山の日	
12	土			12	火		
13	日	例会 (14:00~16:00)		13	水		
14	月			14	木		
15	火			15	金		
16	水	運営委員会		16	土		
17	木			17	日		
18	金			18	月		
19	土	権現山・弘法山		19	火		
20	日			20	水	乗鞍岳	
21	月	海の日		21	木	(一泊二日)	
22	火			22	金		
23	水	八海山・飯土山		23	土		
24	木	(一泊二日)		24	日		
25	金			25	月	編集会議 (10:00~12:00)	
26	土			26	火		
27	日			27	水		
28	月	編集会議 (10:00~12:00)		28	木		
29	火			29	金		
30	水			30	土		
31	木			31	日		

2025年9月山行予定

※/23 (火) 矢切の渡し (ウォーキング)

※9/27 (火) 羅漢寺山

県連※10/17 (金) ~10/21 (火) 韓国登山 (四泊五日)

※10/26ふれあいハイク

## 例会報告

例会出席者                    2025/6/8                    38名                    司会 間瀬  
手塚、安彦、松本、鈴木、加藤、桐生、村上、八巻、小林、伏見、前田え、山岡、  
村田、間瀬、五十嵐、四元、三橋、石塚、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、  
前田せ、赤塚、菅谷、蓮見、清水、畑中眞、笹、富永、富田、吉留政、吉留と  
西堀、尾上、及川、大草

## 山行実績

(下記 URL をクリックしてください)

[https://www.tokatsu.club/files/ugd/ad8bf1\\_3fdcea3e29e24f63be2a4cf54bd42191.pdf](https://www.tokatsu.club/files/ugd/ad8bf1_3fdcea3e29e24f63be2a4cf54bd42191.pdf)

\*\*\*\*\*

## 山行コメント

### 大多摩ウォーキングトレイル 6/21 (土) 【桐生】

古里駅～奥多摩駅まで 8.3 km 所要時間 3 時間 30 分のコースを、のんびり歩きで 5 時間楽しんで歩いてきました。ウォーキングシューズでいいのかなと思いましたが、トレッキングシューズで正解でした。  
鳩ノ巣溪谷→白丸湖畔遊歩道→数馬峡遊歩道→と変化があり、歩いている人が多くてビックリしました。  
迫力満点の白丸ダムも見学した。涼しい～ですよ。  
又、カヌーやサップ等々を楽しめる施設も充実している様子です。歩きながら見学しても楽しい気分！！涼しい気分！！でした。

## 東葛山の会第 49 回定期総会 議事録

日時： 2025 年 6 月 8 日(日)14 時～15 時 45 分

場所： 鎌ヶ谷市中央公民館 学習室 1

司会進行： 四元事務局長

### 1. 安彦会長挨拶

2 年後に迎える 50 周年に向けて今期は各部門で話し合い記念事業の準備を進めたい等の挨拶があった。

### 2. 議長・書記の選出

議長に笹、書記に富田、西堀の 3 名を選出し議事に入った。

### 3. 出席者数の報告

会員総数 56 名の内、出席 40 名、委任状 15 名、欠席 1 名で総会は成立した旨が事務局長から報告があった。

### 4. 第 1 号議案の説明

2024 年度活動報告について、議案書に沿って事務局(四元)、山行部(菅谷)、会報部(桐生)、県連(羽鳥)よりそれぞれ行われた。

### 5. 第 2 号議案の説明

2024 年度会計報告が会計(畑中)より行われた。

### 6. 第 3 号議案

監査報告が会計監査(伏見、村田)より、「収支決算について監査した結果、相違ない」旨が報告された。

### 7. 第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案についての質疑応答

#### ①「セカンドステップ」の購入について

Q. 現在残り部数が 4 部になっている。今後、不足した場合の追加購入する際の支出科目はどこになるか。

A. 山行部活動費から支出する。

### 8. 第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案の採択

満場一致で承認された。

### 9. 第 4 号議案の説明

2025 年度活動方針(案)について議案書にそって事務局(四元)、山行部(蓮見)、会報部(清水)、県連(羽鳥)よりそれぞれ説明が行われた。

### 10. 第 5 号議案の説明

2025 年度予算(案)の説明が会計(畑中)より行われた。

## 11. 第4号議案、第5号議案についての質疑応答

### ① 労山諸費の名称について

Q. 会計収支報告の支出科目で、労山諸費に労山基金はなぜ含めていないのか。

A. 労山基金は個々人での加入のため、会の収支には含んでいない。混同するとの指摘があるので、今後は、科目名を連盟費(仮称)に変更するかどうかを運営委員会で話し合っていきたい。

### ② 東葛山の会のPR活動と会員の募集について

新会員募集について、鎌ヶ谷市内の公民館等にポスターの掲示を検討中である。

問い合わせ先は東葛山の会ホームページとする。

### ③ 予算案について

Q. 2025年度予算案で「会報部」支出が20,000円となっている理由と「支援金・募金」で10,000円を計上する理由を伺いたい。

A. HP担当が、2024年度までは事務局であったため事務局の支出として計上していたが、2025年度より会報部に変更になるため会報部で計上した。

A. 過去の災害時(東日本大震災、能登地震等)に支援金として県連と歩調をあわせて各会も募金をした経緯がある。過去の金額を参考に今期も予算計上した。

### ④ 山行参加者の確認について

Q. 山行参加者確認について、従来の紙ベースからWEBベース(googleフォーム)に、いつ移行するのか。

A. 6月の山行計画でみるとWEB回答をしていない人は4人。大多数の方がWEB回答できているので切り替えることができそうである。8月会山行より移行したい。

### ⑤ 新会員や退会者の「やまびこ」での紹介について

Q. 会報誌に新会員や退会者本人の挨拶文を掲載して欲しい。

A. 会報部として対応したい。

## 12. 第4号議案、第5号議案の採択

満場一致で承認された。

## 13. 第6号議案の提案と承認

2025年度(第49期)の役員について立候補者がいないため、事務局より役員・担当(案)が提案され、満場一致で承認された。

## 14. 新任役員を紹介と挨拶

各部門の新任役員から挨拶があった。

※ 議長、書記が解任され、総会は閉会した。

# 山行案内

## 7月の山行予定

\*八海山(はっかいさん)と飯士山(いいじさん) (体☆☆/危険★★)

日時：7月23日(水)～7月24日(木) 新幹線浦佐駅改札集合 7:40

{7月23日} 八海山

{7月24日} 飯士山

【担当】(CL) 富永、(SL) 安田・桐生・清水

## 8月の山行予定

\*乗鞍岳(のりくらだけ) 3,026m (ゆるい山)：(体☆☆)

乗鞍高原でのハイキングと乗鞍岳登頂の2組に分かれての山行となります。

日時：8月20日(水) 21日(木) 1泊2日

交通

(往路) 新鎌ヶ谷 5:50→6:51 新宿 7:00 (特急あずさ1号) →9:38 松本 10:10 (アルピコ交通バス) →10:40 新島々 (乗換え) 10:50→11:53 乗鞍高原観光センター

(復路) 乗鞍高原観光センター 14:13 (アルピコ交通バス) →15:16 新島々 (乗換え) 15:25→15:55 松本 16:30 (特急あずさ46号) →19:08 新宿 20:18 新鎌ヶ谷

ハイキングコース

1日目：乗鞍高原観光センター…善五郎の滝・牛留池コース…休暇村 (歩行時間約2時間)  
アルピコ交通バス 休暇村 14:30→15:02 位が原山荘

2日目：●散策チーム バスで三本滝まで移動 日本の滝百選 三本滝コース (歩行時間約1時間半)

行き：位が原山荘 8:17→8:39 三本滝 帰り：三本滝 11:39 or 13:39-11:55 or 13:55

●登山チーム バスで畳平 畳平…山頂 (往復) (歩行時間約4時間)

行き：位が原山荘 7:35→7:50 畳平 帰り：畳平 13:05→13:55 乗鞍観光センター  
乗鞍高原観光センター 14:13 発に間に合うよう集合して帰路

山の特徴(危険)：

畳平までバスでアクセス可能：日本最高所のバス停である畳平(標高約2,700m)までバスでアクセスできるため、比較的容易に高山帯の景色を楽しむことができる。

エスケープルート：特になし

宿泊：位ヶ原山荘(標高2350m) 15名岡田にて予約済

宿泊費：1泊2食9,000円/人(平日割500円/人 WEB割500円/人 割引後8,000円/人)

(キャンセル：前日8:30まで無料 前日50% 当日100%)

概算費用：交通手段、交通費・宿泊費・他 合計=約 30,000 円

交通費：電車 11,320 円 バス 9,460 円

JR：船橋—松本往復 9,900 円(休日倶楽部利用) 松本電鉄：往復 1,420 円

バス：新島々から乗鞍高原往復 2,700 円

乗鞍高原観光センターから三本滝 1,210 円/片道 三本滝から位ヶ原山荘 1770 円/片道

位ヶ原山荘前から豊平 1430 円/片道 豊平から乗鞍高原観光センター 2350 円/片道

(宿泊費) 1泊2食 9,000 円/人 (割引後 8,000 円/人) 夕食 18:00 朝食 5:30

その他：(昼食・装備・下見・入浴等)

※乗鞍観光センターから豊平の区間は予約制になります。切符の販売開始は 1 か月前からです。往復分を各自で手配する。

1 日目昼食：乗鞍高原観光センター到着時まで移動中のバスなどで各自済ませておく。

2 日目昼食：散策チームは三本滝レストハウス 登山チームは豊平バスターミナル

担当：岡田友子 四元一成、熊谷淳一 岡部千恵子

## 9 月の山行予定

＊松戸～矢切の渡し～柴又 ウォーキング 全会員対象：(体☆)

戸定邸、矢切の渡し、柴又帝釈天等をめぐるウォーキング。

日時 9月23日(祝) 雨天中止 松戸駅9時30集合

コース 松戸駅…(10分)…戸定邸…(50分)…矢切の渡し…(乗船6～7分)…(昼食)…寅さん記念館…柴又帝釈天(彫刻)…柴又駅(解散)

歩行時間 約1時間20分

見学休憩時間 約4時間

その他(1) 当日強風の場合、船が運休の為、戸定邸より徒歩で柴又まで行く。

(約1時間)

(2) 乗船の定員が30名の為、参加者が30名以上の場合は、先行、後行に分かれて乗船する。船は15分おきに出るそうです。

(3) 2025年9/1～10/3まで戸定歴史館のみ休館日、戸定邸・歴史公園は入館できる。

概算費用

戸定邸見学科…一般(320円)・(20名以上の団体割引)250円 矢切の渡し…300円

寅さん記念館…(一般)500円・(シニア・65歳以上)400円…証明書持参

柴又帝釈天拝観料…400円・(団体割引20名以上)300円

交通費

往路：新鎌ヶ谷—松戸 209円

復路：京成柴又—新鎌ヶ谷 481円

担当 (CL) 鈴木・(SL) 笹・八巻・山岡

## \*羅漢寺山(らかんじ山、弥三郎岳) 1058m ややゆるい山 (体★★ 危技★)

ジャンル：■縦走 場所：甲府市猪狩町

日時：9月27日(土)

交通

往路：新鎌ヶ谷 6:31→6:44 船橋 6:53 (特急あずさ3号) →9:08 甲府南  
9:15 バス→9:45 昇仙峡口 (長潭橋：ながとろばし)

復路：昇仙峡滝上 15:52(バス) →16:41 甲府駅 (9月改定の可能性あり)

(参考) 甲府駅 17:02 (特急あずさ44号) ~ 18:45 新宿

山の特徴：

かつて金峰山信仰の修験権者達が歩いた古道『御嶽道』。樹林帯には歌川広重が描いた奇岩や、炭焼き窯跡が残り歴史を感じる。天を突くようにそそり立つ大刀抜き石や、花崗岩と風化した白い砂が幻想的な白砂山、そして羅漢寺山の頂上からは富士山、金峰山、茅が岳、八ヶ岳、南アルプスなど360度のすばらしい眺望。

コース：行程及びコース図



コースタイム

5時間 距離6km 標高差 登り700m、下り150m (それなりにきつい)

登山口 9:50…太刀の抜き石…11:57 白山展望台 (昼食)

12:27…13:12 白砂山 13:22…13:54 パノラマ台駅…14:14 羅漢寺山

14:34 パノラマ台駅…15:00 昇仙峡滝上

(ロープウェイ) 15:52(14:32)バス (0:50) →16:41(15:21) 甲府駅

概算費用

交通費概算：約11,000 (ジバング利用、バス、ロープウェイ含む) タクシー 055-32-3200

その他：昼食・装備・下見・入浴等

担 当： 清水、四元、猪狩、

## 県連関係予定行事

### クライミング講習（入門編）6回シリーズ

・第2回：6/21（土） 印西クラック於

・第3回：7/13（日） 印西クラック於

### オンライン講習会

・第2回： 6/26（木）19：00～20：30 「ヘリ救助要請する場合の注意点」  
講師：ちば山の会 横山氏

・第3回：9/25（木）19：00～20：30 「登山計画届“コンパス”の紹介」  
講師：インフカム株式会社

・第4回：11/27（木）19：00～20：30 「クライミング安全対策」  
講師：全国連副理事長・遭難対策部長 石川 昌氏

### 海外登山：韓国（ソウル5大名山） 10/17～10/21

「韓国ソウル近郊3座に登る」 道峰山・水落山・仏岩山

\*詳しくは「2025 ちばニュース6月号」 をご覧ください

### ふれあいハイキング（障害者支援ハイク）

・日時：10月26日（日）

・場所：君津市 「三船山（138.7m）」

・募集予定：千葉労山会員50名程度/障害者20～30名程度

\*詳細は近々発刊（一部移動方法未定）の「2025 ちばニュース」 をご覧ください

### 登山講習会 事故防止経験交流集会：11/15

\*上記詳細は「ちばニュース」5月号をご覧ください。

## 日光 フラワーウォッチング

① 高山 5月28日(水) <参加者> 五十嵐、村上、小林、伏見(記)

4日前のユーチューブで今年の日光はとても花々が最高ですよ。と、情報を得ました。早速行くしかないでしょと出かけました。情報通りで「トウゴクミツバツツジ」「シャクナゲ」愛子様のお印の「五葉ツツジ、別名シロヤシオツツジ」のオンパレードでした。

龍頭の滝でバスを降りまして川に沿って、水とマッチしたピンクのミツバツツジを見ながら高山の登山口に。高度を上げて行くとシャクナゲが見事に咲いています。こんなに見事に咲いてる事に感激をしました。

ランチを終え下りにかかるるとトウゴクミツバツツジとシロヤシオツツジの花舞台でした。余りにもゆっくりし過ぎて途中の熊窪から電気バス停留所まで、緑の中でシャワー(雨)を浴びました。クリンソウもチラリ、ホラリと顔を見せてくれました。後、一週間もすれば満開になるでしょうね。静かな高山でした。



## ② 霧降高原 6月6日(金)

<参加者> 桐生、五十嵐、江崎、菊池、伏見(記)

又、ユーチューブの情報で出かけて見ました。「シロヤシオツツジ」「ベニサラサドウダンツツジ」の花々は咲いているかな?と、心配しましたがセーフでした。

まず1445段の階段の最後の400段は登り、左右の登山道を花のウォッチングを愛でながら歩く。小丸山から丸山を眺めると山の斜面が点々と白くなっています。きっとシロヤシオツツジだね。と、言いながら登り始めると期待を裏切らなく、青空と赤薙山尾根をバックに清楚なシロヤシオツツジが咲いていました。今年は運よく先週に続きラーキーでした。



山頂から 40 分も下るとヤマツツジのトンネルです。赤と緑のマッチング、東葛のばーちゃん達テンションマックスです。今日の締めは美味しいソフトクリームでした。無事に 13 : 38 分のバスに乗れました。



# 戸隠西岳

富永 好郎

【 5月29日 】

「戸隠西岳」から「八方睨」までのルートは約50年前に、群馬大学山岳部が開拓したルートと聞きました。一言で言うと正に“バリエーション”、山行中に会ったのは、猿・カモシカ・鹿・(熊も藪に隠れている?)の獣道でした。鏡池を5時にスタート、徒渉を数回繰り返し、尾根に取り付き「無念の峰」から1989m「第一峰」までの3時間半は、鎖々々梯子又鎖々々の繰り返し、最大の核心部でした。今回目標点の「西岳」2053mから、“尖った”見た目程険しく無かった「本院岳」2030mと登り下りを順調に繰り返し、尾根の北側にルートを取ると予想外の障害“雪渓”が待ち構えていました。第二の核心部、大小6ヶ所の雪渓を靴でキックステップしながら、長い雪渓は50mのロープを張って確保してもらいました(先頭は小生が務める)。予想外に時間を要して、「本院岳」から「八方睨」まで2時間40分も要する遅れで、先を急いでも足が動きません。八方睨直下の有名な「アリの戸渡」を通過しても、それまでが、もっと怖い体験してきたので“怖さ”に鈍感になっていました。16時40分には、「戸隠神社奥社」に到着、鏡池駐車場まで歩いて17時半、何とか明るいうちに下山出来ました。夏場の北アルプス岩稜帯練習のつもりで参加しましたが、あまりの厳しさに山の奥深さを体験できて大きな自信となりました。



アリの戸渡



シラネアオイ



八方睨



西岳本院岳

## 石尊山 (1667m)

日 程 : 5 月 29 日 (木)

参加者 : 菅谷真一 (CL) 江崎昌子 (SL) 桐生千恵子

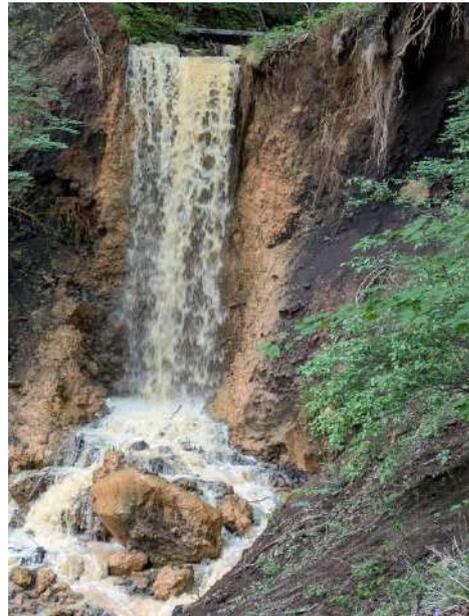
行 程 : 石尊山登山口 8 : 40・・・石尊山山頂 11 : 40 (ランチ) 12 : 15・・・  
石尊山登山口 14 : 40

江崎 昌子

浅間山の裾野のおへそのような山、石尊山一度登ってみたいな～と思っていました。念願叶って一緒に登って下さる仲間が現れました。嬉しい！！

天気予報では曇りマーク雨は無さそうなので実行。軽井沢までは新幹線で一時間。追分の石尊山登山口までタクシーで 30 分ほど。

身支度をして 8 : 40 スタート。樹林帯の緩やかな登山道をひたすら歩く。景色はずーと変わらず一人で来たら飽きてしまうでしょう。3 人で歩いているので時々お喋りをしながら。1 時間ほど歩くと赤茶色の沢に赤茶色の滝が現れる。登山道も急になりハアハア言いながら……。



新緑の中にヤマツツジ、アカヤシオ、ズミなどの花々が現れ心も和む。赤池という名の赤茶色の沢だまりに目を奪われる。更に急坂を登り 11 : 40 石尊山の山頂に着く。山頂の後ろには、デーと雄大な浅間山が、前方には広～い軽井沢の街が。

やっと念願が叶いました。一緒に登ってくれた山仲間感謝です。下山はひたすら元来た道を下りました。登山口に 14 : 40 着、これからタクシーで軽井沢駅へ、と思いきや、信濃追分駅まで歩く。車道を歩くこと 40 分ようやく追分駅に到着。

## 古賀志山 583m（県連登山講習会）

富永 好郎

【6月1日 距離6km 標高差476m 山行時間≒6時間】

県連教育遭難対策委員会主催の登山講習会、受講者10名・指導者4名（教遭委員）合計14名。当会からは2名（田中、富永）が参加しました。

講習の目的は「夏の本格登山に向けた岩場の歩き方」です。当講習会はコロナ禍、雨天により数年ぶりの開催でした。古賀志公園駐車場からの登山開始時点でも小雨が降り続き、合羽を着込んでの生憎のスタートでした。

中尾根コース分岐手前から雨が上がりました。最初の岩壁（バリエーションルート）の前で、チェストハーネスを結び、セルフビレイカラビナをトップロープへかけて、滑る岩場を一人々順番に慎重に登攀しました。起伏のある登山道から中尾根最高点を通過して団子岩へ、ここではシットハーネスの練習をしました。セルフビレイしながらの岩場通過は3ヶ所でした。富士見峠から古賀志山へは往復しました。

ほぼ予定通り15時には下山しました。赤川ダム公園で1時間、避難対策としてのツェルトの張り方、ロープの結び方等の説明を受けました。

今回はより実践的な岩場通過の対処方法、避難対策を学ぶことができました。これからは例え低山でもザック常備品として、スリング・カラビナ・セルフツェルトは持参しようと思いました。



古賀志山山頂



田中さん登攀

龍王峡自然研究路 2025.06.07 (土) 林 孝和

鬼怒川温泉に行く機会があったので、龍王峡自然研究路を歩いてみました。龍王峡は、日光国立公園の景勝地。長い年月の浸食で造られた溪谷美は自然の芸術品。新緑から紅葉まで四季折々の景色を楽しむことができます。

龍王峡自然研究路のスタート地点は龍王峡市営駐車場、車だと新鎌ヶ谷からだと3時間弱です。ここには野岩鉄道会津鬼怒川線の龍王峡駅もあり、電車だと新鎌ヶ谷駅からだと車と同じく3時間程度です。駐車場からは目の前に昨年の年末山行で登った鶏頂山がそびえます。駐車場には電気自動車の充電設備も設置され、食事処もあります。



龍王峡駅からの龍王峡自然研究路のハイキングコースには主に下記の3コースがあります。

<b>② Musasabi Bridge Circuit Corse</b> むささび橋巡回コース About 2km, 1hour trail 約2km 1時間コース	<b>③ To Shirowa</b> 白岩まで About 1km, 3hour Trail 約2km 1時間コース	<b>④ To Kawaji-onsen Iwaburo</b> 川治温泉岩風呂まで About 6km, 3hour Trail 約6km 3時間コース
<p><b>A → B → C → A</b></p> <p>A Present Place → B Goryuoh Shrine → Nijimi Falls → Nijimi Bridge →                      C Musasabibashi Bridge → Japanese Skunk Cabbage Colony →                      Tategato Falls → A Present Place</p> <p>A 現在地 → B 五龍王神社 → 虹見の滝 → 虹見橋 →                      対岸散策 → C むささび橋 → ミズバショウ群落 → 壱琴の滝 →                      A 現在地</p>	<p><b>A → B → C → D</b></p> <p>A Present Place → D Goryuoh Shrine → Tategato Falls → Nijimi Falls →                      C Musasabashi Bridge → Japanese Skunk Cabbage Colony →                      Taikan → D Shirowa</p> <p>A 現在地 → B 五龍王神社 → 壱琴の滝 → 虹見の滝 →                      C むささび橋 → ミズバショウ群落 → 大観 → D 白岩</p>	<p><b>A → B → C → D → E → F → G → H</b></p> <p>A Present Place → D Goryuoh Shrine → Tategato Falls → Nijimi Falls →                      C Musasabashi Bridge → Japanese Skunk Cabbage Colony →                      Taikan → D Shirowa → E Hamako Bridge → F Koami Bridge →                      G Ajsai Park → Kogane Bridge → H Kawaji-onsen Iwaburo (Hot Spring)</p> <p>A 現在地 → B 五龍王神社 → 壱琴の滝 → 虹見の滝 →                      C むささび橋 → ミズバショウ群落 → 大観 → D 白岩 →                      E 浜子橋 → F 小網ダム → G あじさい公園 → 黄金橋 →                      H 川治温泉岩風呂</p>

②はむささび橋巡回コース、③は白岩まで上り川治温泉駅から電車に戻るコース、④は川治温泉和風呂まで上り川治湯本駅から電車に戻るコースです。今回は時間の都合から②のむささび橋巡回コースを歩きました。駐車場から鳥居をくぐって石の階段を5分程下って溪谷へ降りて行くと五龍王神社と虹見の滝があります。ここは鬼怒川・川治温泉の守り神とされる龍王を祀った神社です。虹見の滝は落差20mの美しい滝です。勢いよく流れ落ちる姿をみると、虹ができるというのもうなずけます。



虹見橋を対岸へ渡ると鹿がいました。



対岸には湿地帯があり、モリアオガエルの池にはオタマジャクシがたくさん群れていました。



対岸を約700m上流へ上がった所にむささび橋があり、そこからは溪谷の雄大な景色が望めます。



橋を渡るとむささび茶屋がありますが、閉まっていた。地図によるとこの辺りにミズバショウ群落の湿地があるということでしたが、鹿に食べられたのか？見当たりません。代わりにその先にコアジサイが見られました。



ルートの終わりには清らかな水が幾筋にも分かれて流れる美しい豎琴の滝がありました。竜王峡は、むささび橋から下流が白っぽい色をした流紋岩、むささび橋から兎はねの間が青い色をした緑色凝灰岩、兎はねから上流が紫色をした安山岩でできています。そこで岩の種類による色の違いから、最初の地図に示すように下流から各々白竜峡、青竜峡、紫竜峡と呼ばれています。

龍王峡自然研究路についてご興味のある方は以下のサイトで動画も見るすることができます。

<https://www.youtube.com/watch?v=taRJQn1NejE>

## 平標山（1984m）

2025年6月17日（火）

参加者：清水、桐生、嶋本、間瀬、五十嵐（記）

「平標山」、会でも何度も計画したが、実現しなかった。  
花の百名山になっているので、花の時期に行きたいと計画を立ててくれた。  
天気はころころと変わり、迷ったが「曇りでも行こう」と二日前に乗車券を購入した。

越後湯沢駅～平標山登山口のバスに乗るとバスのワイパーが止まらない。  
大した雨ではないが展望は期待できないと思っていた。  
道の駅を過ぎ、小さなトンネルを抜けると雨は降っていない！道路も乾いている。雲の隙間から青空も顔をだしている。

登山道の案内に従って進む。いきなりの急登だ。話には聞いていたので「ゆっくり歩こうね」 天気もここへきて梅雨前線が弱まりしばらくは雨が降らない予報が出ている。雨らしい雨が降らずに真夏日が更新されている。

暑さに慣れてないので、小まめに休憩と水分補給を意識して登山道を進む。  
樹林帯の中ではツマトリソウ、マイズルソウなど可憐な花が咲き、尾根に出ると足元にコケモモ、オオイワカガミ、目を上に上げればヤマツツジのオレンジが鮮やかに咲き「綺麗だね！」「元気がでるね」

「もう少し曇っていてくれたらいいのに・・・」贅沢な事、言っている私。

登山道は石ころと木の階段となり、太陽が容赦なく照り付ける。

そんな中、赤紫のヨツバシオガマの花が咲き、平標山の稜線の全貌が目に入り山の大きさを感じる。

右はじの小高い山の上に標識らしき棒が一本、小さく見える。「あそこまでいくの？まだまだだね・・・頑張ろう」

ハクサンイチゲの群生、白い花が緑と青空に映える。

ようやく山頂に到達。360度のパノラマ！と雲海の中に浮かぶ残雪の「苗場山」

若い人はそのまま「仙ノ倉」に向かうが私たちは上から花畑を眺めてあきらめる。山小屋が今月30日まで予約が取れなかった。30日では花が終わってしまうので





しかたなく日帰り山行にした。遅めのランチも早々に切り上げ、下山する。「山の家」を下に見ながら降りていく。ワタスゲとイワカガミの群生。雪解けの斜面いっぱいの花畑に「見て！見て！斜面の花、こんな初めてだ

ね！」先に行く二人に声をかけしばし見とれる。

小屋で美味しい水を補給し、下って来た山頂を振り返る。

小屋からも階段続きで、足にも疲れがきていた。膝の脇の筋が途中から痛み出してきたのでサポーター装着。長い山歩きでは不安材料の一つだ。

林道までなんとか降りてきた。

この年では何かしら皆、不安を抱えている。うまく付き合っていくしかない。

朝は心配していた天気も晴れに変わり、山頂付近は17℃と快適な気温。

吹き抜ける風も心地よく、行きたかった山、「平標山」満足の山旅でした。

皆さん有難うございました。



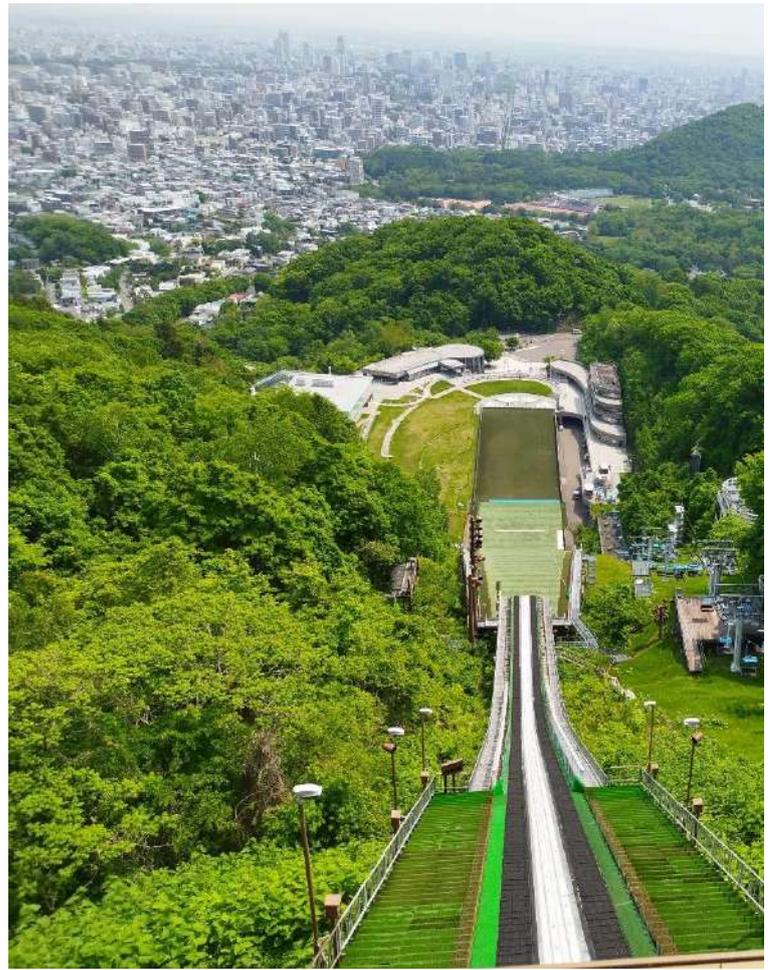
平標山稜線

札幌の**円山～藻岩山～三角山～大倉山**を振り返って

羽鳥健一郎

円山の八十八ヶ所<sup>つづらおり</sup>九十九折クルマバソウが咲き誇りおり  
石仏が微笑み座せり円山の八十八ヶ所新緑<sup>みち</sup>の山道  
藻岩山エゾハルゼミの鳴き声<sup>ぼんりよく</sup>が万緑のなかシャワーのごとし  
バス停で八十路<sup>やそじ</sup>を過ぎし登山者と意気投合し藻岩山まで  
万緑の三角山の山道は整備されおり市民の守る  
東屋にトライアングル吊るされて三角山と二度ほど叩く  
目<sup>まなか</sup>交いに昨日登りし藻岩山、円山望む三角山よ  
分岐点「ヒグマ」出るとの表示あり三角山から大倉山へ  
此処があの大倉山のジャンプ台 彼方には札幌テレビ塔<sup>いつわ</sup>が  
右手には大倉山のジャンプ台 見つつ下れば記念の五輪





## 思い出の山

### 篠井富屋連峰（宇都宮アルプス）

山口洋子

標高 500mほどの低山（榛名山、男山、本山、飯盛山、高館山、黒戸山、兜山）が連なるコース。宇都宮アルプスという名で人気が出ていた。京成津田沼駅発のツアーがあったので、1人参加で申し込んだ。

行きは、高速東北自動車道で宇都宮に向かった。

低山とは言え、アップダウンの繰り返しで、結構な山道だった。昼食も済ませ、後半の兜山のあたりだったろうか。くらくとして、山の斜面から体が流されるような気がした。まずい!! めまいが起きてしまったのか? まだ先があるのにどうしよう・・・そう思った瞬間、目の前の山肌が ぷくっ ぷくっと膨らんだ。

「みなさん、近くの木に捕まって下さいあい！」

ガイドの緊迫した大声に、私も体が揺らされながら近くの木に捕まった。

何が起きたのだろうか？

「みなさん、今宮城県で大きな地震が発生しました。大変なことになっています。

私たちもこれから急いで麓に下ります。」

ガイドの声に、緊迫した空気がみなぎり、黙々と下山を開始した。ガイドは、ラジオから地上で起きている出来事を必死につかむ努力をしていた。全員下山し、大急ぎでバスに乗り込んだ。

「下山後、入浴の予定でしたが、旅館の風呂場は照明やガラスが割れてしまっているということで、すぐ帰ることにします。但し、何時に着くかわからないので、これからお店に寄ります。パンや飲み物を補充してください。」

立ち寄った店も、明かりが消え、レジも動かなくなっていた。一品、一品、値段を電卓で打ち出していた。

全員バスに乗り込むと、運転手が

「高速道路は通れません。通れる道で、京成津田沼駅と千葉駅までは必ず帰りますから、帰りのコースは私に任せて下さい。」と。

町に明かりは消え、屋根の崩れが見え、信号は無灯火で警官がピーピーと笛を鳴らし、手信号で交通整理をしている。日が暮れて、暗い田んぼ脇の道をバスの明かりだけで走り続けた。ガイドが話す地震の凄まじい情報に、バスの中は重苦しい空気に包まれていくばかりだった。たとえ夜中に京成津田沼駅に着いたとしても、鎌ヶ谷の自宅までどう歩いて帰ればよいのだろうか。自宅にいる夫に連絡を取ろうとしても、携帯電話は通じません。何度かけても通じません。

「神様、助けてください。遊びすぎていてごめんなさい。神様、助けてください。」

私はずっと手を合わせ続けた。明かりの消えた暗い夜道をずっと走り続けたバスが、急に明かりのついた町に出た。えっ、ここは？もしかしたら、取手で、沼南道の駅に続く道ではないか？私が茨城の実家に帰る時に使う道ではないか？この道ならわかる！なら、新鎌ヶ谷駅の近くも通るかもしれない！

「すみません。運転手さん、新鎌ヶ谷駅の近くを通りますか？」

私は後ろの方の席から、必死に声を出した。

「通りますよ。」

なんと、私は新鎌ヶ谷駅近くで降ろしてもらえたのだ。

今思うに、あの時京成津田沼駅から途方に暮れながら家路に向かって歩いたとしても、この災害にみまわれた人々の苦とは比べものにならなかったはず。

2011年3月11日14時46分頃発生した東日本大震災。この被害の凄まじさは連日伝えられ、そののち、私は被災地を往訪した。



8月号は蓮見さん、9月号は菅原さんです。前月の20日を目安に加藤までお願いします。

ちょっと一言

導かれて

吉留 とも子

今年10月に、2018年以来の同期会が開かれるとの嬉しい知らせが届きました。秋田県横手市が私の故郷です。人口8万人足らずの静かな城下町です。友人たちの顔ぶれを思い返そうと古い写真を引っ張り出しました。すると中学2年の夏、登山した時の写真がありました。裏に先生の名前も・・・若い元気な先生で友達のように接してくれました。昔ですからクラスには53人もいました。ある日先生が、「おみたけさん」に登る人？と声をかけたのです。

「ハイ！！」と手を挙げた男4人女8人、計12人の無鉄砲君達。もちろん私もそのひとり（昔からこんな性格だったのね・・・）。昭和38年ですから、履いていたのはズック靴。ネットで調べると「御岳山（みたけさん）」、私たちは「おみたけさん」と呼んでいます。標高751m、林道なのでそれなりの装備が必要となっています。詳しく写真を調べると、秋田だけに「芋煮鍋」？、先生！山で芋煮はダメだよ～！！山火事が起きなくて良かったです。

前置きが長くなりました。この時の楽しさがOL時代の山岳部、子育てが終わって山城巡り、そして東葛山の会へと導いてくれたと思えるのです。10月の同期会では先生にありがとうと伝えてきます。



御岳山 秋田県横手市 751m

8月号の担当は富田さんと吉留政治さんです。

(7月20日までに柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付願います。)

(ヤナギ ツギホ norinatsu1130@gmail.com)

## 編集後記

梅雨入りしたと思ったら、連日の晴れ予報に猛暑がやってきた。『府中市郷土の森』公園のアジサイが見ごろとの情報で行ってみた。

嬉しいことに、大人の休日クラブ割引で入場料が半額になった。(300円→150円)

公園は東京ドーム3個分の広さで、アジサイ祭りも開催されているので、平日でも

大勢の人達で賑わっていた。いろいろなアジサイが見ごろだったが、この公園は

『アナベル』という繊細な白いアジサイが、白いヤマボウシと一緒に、緑の森の中に

『アナベルの丘』と案内されている。そんな雰囲気の中でのランチはいつもと同じ

質素なおにぎりでも美味しかったです。

この公園での、もう一つのお楽しみは梅の実が拾えることです。ロープの中に入らない

で手が届くところは拾ってもOKなので、小さなリュックに入るだけを拾いましたが、

ちょっと欲張って拾ったかも……。

落ちた梅だから熟しています。教えてもらって梅ジャムにして楽しんでいます。

(ちーこ)



### 原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までをお願いします。

<担当>山岡、菅原、桐生

**連名でお願いします**

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和7年月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集 会報部